(ご参考)

心のバリアフリー向上をめざして

京阪線全駅および大津線主要駅に

『コミュニケーションボード " 心のやりとり " 』を設置します

京阪電気鉄道株式会社(本社:大阪市中央区、社長:佐藤茂雄)では、『"安心と快適"を基本に、"お客さまにやさしい駅"をつくりあげていきます』という考えのもと、下記のとおり『コミュニケーションボード"心のやりとり"』を京阪線全駅および大津線主要駅に順次設置します。

『コミュニケーションボード"心のやりとり"』は、障がいのあるお客さまや外国人のお客さまと円滑なコミュニケーションを図ることを目的としたツールで、ボードに描かれたイラストに指をさすことで意思表示をしていただくことができます。今回は "お忘れ物編"のみの内容ですが、今後、お客さまからのお問い合せが多い項目から順次取り上げ、ページを増やしていく予定です。

なお、名称である"心のやりとり"とは、「**や**さしさを持ってお客さまの想いを理解(**り**かい)し、コミュニケーションを**とり**ましょう」から名付けたもので、駅でお困りの方に対して駅係員がより積極的にお声がけをし、コミュニケーションをとっていこうという思いが込められています。

当社では、「ヒューマンサポートプロジェクト」を立ち上げ、心のバリアフリー向上に取り組むなど駅を利用されるすべての方にやさしい駅をめざしています。昨年には、京阪線全駅係員511名にヒューマンサポート研修を実施したほか、お客さまの救命率向上のため、京阪線主要駅にAED(自動体外式除細動器)を設置しました。また、本年5月24日(木)には、京阪線全駅係員が普通救命講習の受講を完了する予定です。

記

【設 置 日】 平成19年5月1日(火)より順次設置

【設 置 駅】 京阪線全56駅(鋼索線を除く)、および大津線主要駅(21駅) (けいはんインフォステーション〔案内所〕・改札口など) 合計151部

【サイズ】 大きさ:幅250 mm×高さ300 mm×厚さ30mm

【イメージ】





以 上